

月報 December, 2024

編集後記

今月もJCCI月報2024年12月号を最後までご覧いただき、ありがとうございました。

本号では、シンガポールにおける港湾手続きのデジタル化について特集し、Just-in-Timeプラットフォームの導入による効率化の進展を取り上げました。また、建材一体型太陽電池（BIPV）の紹介も行い、持続可能な建築技術として

の可能性を探りました。さらに、無形資産活用に向けた共創先探索の取り組み「JCTI Launchpad」活動についても紹介しています。また、2024年の海外渡航リスク管理を振り返り、企業の安全対策を見直すための重要なポイントを解説しています。

シンガポールでは、2024年末の変化点として、シンガポール港のコンテナ取扱量が過去最高を記録、物流拠点としての重要性がますます増していきます。また、アジア脱炭素化プロジェクトへの資金拠出が発表され再生可能エネルギーなどの導入に使われる予定です。さらに、アニメファン向けのフェスティバルが開催され、日本発信の文化交流の場としても大いに盛り上がりました。シンガポールの2024年通年GDP成長率予測も上方修正が発表され、経済の堅調な成長が期待されています。これらの動向を踏まえ、シンガポールにおけるビジネス機会の拡大を一層図っていく企業様が増えるのではないのでしょうか。

末筆ではございますが、ご多忙の中ご寄稿いただいた皆様、また本月報をお読みいただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、皆様のこれからのご健勝をお祈りいたします。今年も多くのご支援とご愛読を賜り、誠にありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。引き続き、JCCI月報をよろしくお願ひ申し上げます。

(編集後記担当：AGC Asia Pacific Pte Ltd 山本 今日子)



山本



近藤



内藤

○氏名：近藤 明日香 (こんどうあすか)
○出身地：埼玉県さいたま市 (旧浦和市)
○在星歴：通算10年
○会社名：NIKKEI GROUP ASIA
○仕事内容：日本経済新聞社グループの東南・南アジアにおける事業開発。域内投資先・グループ企業との連携調整や、英文ニュース媒体Nikkei Asia等の認知度向上に資するメディア協賛、カンファレンス企画実施など
○趣味：声楽 (ソプラノ)、巷のヘリテージ探索散歩、演劇など舞台鑑賞、人の本棚の写真や車内で何か読んでいる人を眺める
○友人をシンガポール案内するとしたら、どこ?：中華街・インド街・アラブ街など。歴史好きには各種博物館や史跡、宗教施設。自然好きには国立公園や各地の川沿い、ナイトサファリ。
○読者の皆様へ：12月号をご覧頂き有難うございました。2025年のSG60 (シンガポール建国60周年)、翌26年のSJ60 (日星外交関係樹立60周年) といった節目を迎えるにあたり、シンガポールや日本の現在地と未来に思いを馳せながら、年末年始を過ごしたいと考えております。会員・読者の皆様には、本年も大変お世話になりました。どうぞお健やかに良いお年をお迎えくださいませ。

○氏名：内藤 靖統 (ないとう やすりのり)
○出身地：福井県越前町 (旧朝日町)
○在星歴：約8年4か月 (2016年9月～)
○会社名：UZABASE ASIA PACIFIC PTE LTD
○仕事内容：SPEEDA事業の東南アジア・インド統括
○趣味：ポタリング (自転車であらぶらぶら)
○友人をシンガポール案内するとしたら、どこ?：アラブストリートとレパノン料理
○読者の皆様へ：2024年は、米中対立や景気後退、中国系EVメーカーの南進により、多くの製造業が急速な環境変化を経験しました。同時に製造・物流網の再構築や、地域統括機能のシンガポールから他国への分散など大きな変化に直面した年でした。2025年は、さらに大きな変化と成長の機会が訪れることを期待しています。

発行

JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY,
SINGAPORE
10 Shenton Way #12-04/05 MAS Building Singapore
079117
Tel: 6221 - 0541 Fax: 6225 - 6197
E-mail: info@jcci.org.sg Web: https://www.jcci.org.sg

編集

TOUBI SINGAPORE PTE.LTD.
138 Robinson Road #18-03 Oxley Tower Singapore
068906
Web: https://www.toubi.co.jp/

今後の月報掲載方法のご連絡と 2025年1月号 掲載予定記事一覧

いつも機関紙「月報」をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。2025年1月号より、PDF版からHTML版に移行いたしますので、引き続き、弊所ウェブサイトより、アクセスいただき、ご覧いただけますと幸いです。

①新年のご挨拶
— 会頭 — 大使 — 各部会部会長 — 広報委員会委員長

②経済展望

※タイトル及び記事内容については、執筆者の都合により変更される場合があります。